

# 令和2年度

## 社会福祉法人瀬戸市社会福祉協議会事業報告

本会では令和2年度の事業運営にあたり、平成29年度に策定した「地域福祉活動計画」に基づき、地域福祉課題解決のため4つの重点施策を掲げ、引き続き、「地域の居場所推進事業」を核とした重点項目を中心に福祉事業の展開を予定した。

しかし、令和2年3月以降、世界的規模の危機となった新型コロナウイルス感染症の感染予防やまん延拡大防止への対応により、社会のあらゆる分野で活動や行動が制約を受け、人々のつながりの希薄化や分断、孤立が著しく増幅されるという影響を伴った。本会にあっても地域福祉推進事業や福祉保健センターの指定管理事業はじめ、地域の福祉活動において、その多くが休止や縮小を余儀なくされ、予定した活動量や成果を大きく下回る結果となった。また、会員募集や共同募金運動などにおいては、地域関係者に例年に増して心労をお掛けする結果となった。他方、コロナ禍に伴う生活困窮世帯の急激な増加に対応した生活福祉資金貸付制度に基づく相談や申請受付事務など、予期せぬ事務量の増加に機動的に対応し、セーフティネットとしての役割の一端を担った。

コロナ禍の収束は依然として見通せず、社会全般がこのような状況下にあることから、地域の福祉課題はコロナ禍を起因としてこれまで以上に広がり複雑化を呈し、顕在化が危惧される場所である。一方で、様々な苦難や困窮を抱える方々への支援は、公助のほか、多くの人々の気づき寄り添う行動が各所でつながりを見るところとなった。

後年度に向けては、誰もが経験のない事態に困惑と萎縮が先行したこの令和2年度の経過を踏まえ、新しい生活様式の実践を基本としつつ、コロナ禍と共存しうる事業の実施方法を探っていく必要がある。

### <地域福祉活動計画 重点施策>

#### 1 誰もが集える居場所づくり

地域のコミュニティを維持することができるように、身近な地域で誰もが集まることができる居場所づくりを推進するため、地域の居場所推進事業(わがまち「よりどころ」プロジェクト)について広報誌(社協だより年4回)に掲載や地域での会議で周知、啓発に取り組んだ。また、地域の会議では、住民からの「よりどころ」開設の相談に対応した。

#### 2 地域で活躍できる支えあいの人づくり

災害時に立ち上げる「災害ボランティアセンター」の担い手養成のため、災害ボランティアコーディネーターの養成講座の開催や、災害ボランティアセンター立ち上げに向けたオンラインによる運営訓練を開催した。コロナ禍において自宅にいながら交流できるオンラインサロンの担い手養成講座や福祉実践教室サポーター養成講座等を開催し、地域で活躍できる支えあいの人づくりの推進に取り組んだ。

また、今年度は地域の困りごとのアンケート結果を踏まえ、各種団体の協力により、住民のたすけあいによる高齢者の移動支援事業の試みが見られている。

### 3 相談できる・つながる仕組みづくり

地域担当者が「よりどころ」や各種団体の会議への参加及び「ふくし出前講座」の実施を通じて地域と積極的に関わり、地域住民間のつながりから得られる様々な困りごと情報を明らかにし、支えあうことへの支援及び専門機関や行政の相談へつながる仕組みづくりに取り組んだ。

### 4 支えあいの心をはぐくむ環境づくり

福祉に対する理解や知識を深める「福祉実践教室」や職員が地域の集まりに出向いて行う「ふくし出前講座」等を実施し、子どもから大人まで幅広い世代に対し福祉に接する機会をつくり、支えあいの心をはぐくむ環境づくりに取り組んだ。

## <令和2年度 重点項目>

### 1 マスコットキャラクターを活用した社会福祉協議会の周知

法人化50周年を機に作成したマスコットキャラクター『せとっち』を活用し、本会の事業活動（災害ボランティアコーディネーター養成講座、福祉クリスマス会）の周知、啓発に活用した。

### 2 地域の居場所推進事業～わがまち「よりどころ」プロジェクト～の推進

歩いて行くことができる身近な地域の居場所「よりどころ」に対し、看板の設置・認定と運営に関する費用の一部助成を行い、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるまちづくりの推進に取り組んだ。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止や活動再開に向けて、「よりどころ」に感染予防啓発のチラシや寄贈されたマスクの配布等を行った。

なお、地域住民向けの説明会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

### 3 福祉奨学金入学準備費の支給

小中学校の入学準備が経済的な理由により困難な世帯への援助として、福祉奨学金入学準備費の支給を行い、児童生徒の福祉増進に取り組んだ。

### 4 ふくしボランティアフェスティバルの開催

地域住民が社会福祉協議会を知り、またボランティアと接する機会として、「ボランティアフェスティバル」と「福祉のつどい」を一体とした「ふくしボランティアフェスティバル」の開催を前年度同様に計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とし、代わりにボランティア活動を紹介するDVDを作製し、周知、啓発に取り組んだ。

### 5 地域担当制の実践強化

7地域包括支援センター単位に、地域担当職員や生活支援コーディネーターを配置し、地域にある生活課題の解決に向け、地域住民とともに地域福祉活動の推進に取り組んだ。また、今年度は地域担当連絡会を11回開催し、わがまち「よりどころ」プロジェクトの推進、地域福祉活動計画の進捗状況確認、地区社協事業等の情報共有や意見交換を行った。

## 6 災害ボランティアセンターの充実

今年度は東尾張ブロック9市2町の幹事市として東尾張ブロック局地災害時救援活動訓練の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため災害ボランティアセンター設置・運営訓練は中止とし、応援要請等の事前訓練及びオンライン会議のみ実施した。なお、実施にあたっては瀬戸北ロータリークラブより寄贈された災害救援備品を活用した。

また、コロナ禍を踏まえた災害ボランティアセンターの運営紹介のためのDVD作製・配布のほか、災害ボランティアコーディネーター養成講座の実施により8名の新規登録者を得る等、災害ボランティアセンターの整備と充実に取り組んだ。

## 7 障がい福祉サービス事業等の充実

やすらぎ地域活動支援センターでは、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を徹底し、利用者のニーズに対応できるよう福祉サービスの充実に取り組んだ。

介護保険事業において、利用者が望む本人らしい生活を支援する福祉サービスの充実のために地域ケア会議を開催し、必要となる新たなサービスを検討した。

## 8 瀬戸市福祉保健センター(やすらぎ会館)の運営

瀬戸市福祉保健センターの管理者として指定を受けて、瀬戸市福祉保健センターの管理業務、瀬戸市身体障害者福祉センター・瀬戸市老人福祉センター・瀬戸市プレイルーム事業の運営を行った。また、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言発令等に伴い、瀬戸市老人福祉センター・瀬戸市プレイルーム及び貸室の利用の休止や利用制限を機動的に実施したほか、消毒の徹底・注意喚起を行うなど、安全な管理運営に努めた。さらに、市と連携して要保護児童家庭等の支援として瀬戸市プレイルームを活用し、利用休止中においても見守りや相談を実施した。

引き続き、令和3年度からの5年間についても管理者の指定を受けた。

## 9 地域包括ケアシステムの構築

基幹型地域包括支援センター、地域包括支援センター及び生活支援コーディネーターと連携し、地域包括ケアシステムの構築に向けて地域ケア会議等に参加し地域課題の抽出、解決に向けた取り組み等を検討・実施した。

### <主な事業内容>

#### 1 社会福祉推進事業

##### (1) 役員会等の開催

###### 主な議案

- ・ 評議員会の開催
- ・ 顧問の選任
- ・ 評議員選任・解任委員会委員の選任
- ・ 評議員選任・解任委員会の開催
- ・ 評議員選任候補者の推薦
- ・ 事業報告・決算
- ・ 福祉サービスに係る苦情解決事業に関する実施要綱の第三者委員の選任
- ・ 福祉基金の設置及び管理に関する規程の一部改正

- ・福祉基金の一部取崩し
- ・補正予算(第1号)、(第2号)、(第3号)
- ・社会福祉大会の顕彰
- ・事業計画・予算
- ・役員等の費用弁償に関する規程の一部改正
- ・役員賠償責任保険の加入

(2) 瀬戸市社会福祉大会(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止、顕彰のみ)

| 顕彰の種類  | 被顕彰者 |     |
|--------|------|-----|
| 市長感謝   | 8団体  | 10人 |
| 社協会長表彰 | 1団体  | 21人 |
| 社協会長感謝 | 1団体  | 20人 |
| 赤い羽根作品 |      | 14人 |

(3) マスコットキャラクターを活用した広報啓発活動の推進

マスコットキャラクター「せとっち」の着ぐるみを作成し、東尾張ブロック局地災害時救援訓練用DVDや福祉クリスマス会中止に伴うプレゼント用DVDに「せとっち」を活用する等、啓発活動の推進に取り組んだ。

(4) 社協だより・ホームページ等の強化

本会が実施する事業の周知及び福祉に関する理解促進のため、広報紙「社協だより えがおのたね」を年4回(4、7、10、1月)発行した。また、ホームページを活用し、タイムリーできめ細やかな情報の発信に努めた。

(5) 職員研修計画に基づいた研修の実施

外部研修は減少したが、社会福祉協議会内の地域福祉活動計画に関わる進捗状況、各事業における目標管理の実践、職員を対象とした「心の健康づくり」について研修を実施した。

(6) 各種団体との連携強化

ボランティア団体、福祉団体等で構成するやすらぎ連絡会は、福祉夏まつりや福祉クリスマス会、お楽しみ交流会を実施することを目的としているが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のためこれらイベントは中止とし、連絡会も休止とした。代わりに障がい者施設による手作り品の販売促進の検討や施設利用団体の作品展示の実施等、例年とは異なる方法で連携を図った。

また、本会の施設会員で構成する施設連絡会は3月に会議を開催し、各施設等が抱える課題について情報共有し連携を深めた。

## 2 地域福祉推進事業

(1) 地域に必要とされる地区社協活動の支援

ア 地区社協会長連絡会及び企画委員会の開催

主な議案

- ・会員募集
- ・敬老事業
- ・歳末たすけあい募金配分金
- ・地区社協役員研修会
- ・企画事業審査会

- ・地区社協活動助成事業
- ・次年度配分金
- ・地区社協活動マニュアルの見直し

#### イ 地区社協役員研修会

今後の地区社協事業を考える機会として、地区社協役員を対象とした研修会を開催しているが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年11月14日(土)に開催を予定していた地区社協役員研修会を中止とし、代わりに地区社協会長連絡会開催時に地区社協会長に対してミニ役員研修会を実施した。

|      |                                |
|------|--------------------------------|
| 開催日  | 令和2年11月12日(木)                  |
| 開催場所 | やすらぎ会館3階 和集会室                  |
| 内容   | 「これからの地区社協事業について」～他市・他地区の事例から～ |

#### ウ 地区社協事業

予定をしていた多くの事業が、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休止された。その中、感染防止対策を講じながら各地区の実情に応じた事業等が実施された。

| 区分   | 事業名                      | 地区社協数<br>(全19地区)      |
|------|--------------------------|-----------------------|
| 主な事業 | 敬老事業                     | 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 |
|      | 歳末たすけあい配分事業              | 19地区                  |
|      | ふれあい会食                   | 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 |
| 企画事業 | 子育てサロン                   | 5地区                   |
|      | 高齢者の集いの場作り<br>(いきいきサロン等) | 8地区                   |
|      | 広報紙発行                    | 17地区                  |
|      | 買い物移動支援                  | 1地区                   |
|      | マスク配布・見守り事業              | 1地区                   |

#### (2) 地域の居場所推進事業～わがまち「よりどころ」プロジェクト～の推進

歩いて行くことができる身近な地域の居場所「よりどころ」に対し、看板の設置・認定と運営に関する費用の一部助成を行った。今年度は多くの「よりどころ」で、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い活動が休止された。

|             |                   |          |
|-------------|-------------------|----------|
| 看板の設置・認定の累計 | 44か所 (前年度対比 4か所増) |          |
| 運営に関する費用助成  | 15か所              | 198,000円 |
| 開催回数及び参加者数  | 1,088回            | 延べ7,220人 |

#### (3) 子育て支援・子育てサロンの拡充

新型コロナウイルス感染症の影響により、新たな子育てサロンの拡充にはつながらなかったが、実施に向けた3か所の子育てサロンで感染症対策の助言等を行った。

#### (4) 地域支えあい会議の実施

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催ができず、市内7つの地域包括支援センターや地域の諸団体との情報共有等を行った。

(5) 地域担当制の実践強化(7地域包括支援センター単位)

7地域包括支援センター単位に、地域担当職員や生活支援コーディネーターを配置し、地域にある生活課題の解決に向け、地域住民とともに地域福祉活動の推進を図った。また、地域担当連絡会を11回開催し、わがまち「よりどころ」プロジェクトの推進、地域福祉活動計画の進捗状況確認、地区社協事業等の情報共有や意見交換を行った。

(6) 買い物バスツアーの全市的な実施

買い物に困っている住民や地域の課題解決に向けた支援方法を検討するため、老人福祉センターのバスの運行空き時間を活用して買い物支援を企画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、バスの利用制限や地域活動の自粛を踏まえ休止とした。

(7) 子ども食堂の実施

子どもの孤食を防ぎ、学習支援をすることで、安心して子どもが過ごせる居場所づくりを目的とした子ども食堂を例年通り予定したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、通常開催は休止とした。このため「せとっちエール便」という食料支援活動に切り替え、地域住民等に寄付いただける食料品を募り、コロナ禍の影響で収入が減少した方や生活困窮の方を対象とした食料品配布を実施した。

| 食料品募集期間         | 集まった数  | 配布家庭数 |
|-----------------|--------|-------|
| 令和2年7月30日～8月13日 | 1,321個 | 38件   |

(8) 保健・医療・福祉関係機関との連携強化

自治会や民生委員児童委員協議会をはじめとする各種団体や瀬戸旭医療・介護連携推進協議会や瀬戸介護事業連絡協議会の会議参加等による連携強化や活動支援に取り組んだ。

(9) 歳末たすけあい募金の配分

ア 歳末たすけあい募金配分金関係

介護保険要介護4・5の方、身体障害者手帳1・2級の方、療育手帳A判定の方、精神保健福祉手帳1・2級の方及び母子父子家庭等の18歳未満の子を対象に、介護用品券・福祉タクシー券・図書カード・シルバー人材センターサービス提供券の支給を実施した。

| 内容            | 支給件数   | 支給金額       |
|---------------|--------|------------|
| 歳末たすけあい募金配分事業 | 1,595件 | 3,190,000円 |

イ 各地区社協において、介護用品の支給、おせち料理の配達、クリスマス会、慰問等の地域福祉事業を実施した。

ウ 障がい者施設及び瀬戸市母子福祉会への助成を実施した。

| 対象           | 助成金額     |
|--------------|----------|
| 障がい者施設(21施設) | 230,500円 |
| 瀬戸市母子福祉会     | 75,000円  |

(10) ふくし出前講座の拡充

「よりどころ」や地区社協等の会合に出向き、わがまち「よりどころ」プロジェクトや認知症を含めた健康講座、その他福祉に関する様々な情報や知識についての講座を実施した。

| 内容      | 実施件数 |
|---------|------|
| ふくし出前講座 | 3件   |

(11) 障がい者、高齢者の自立支援及び社会参加活動の促進

地域活動支援センターでの活動や認知症カフェの担い手等を通じた社会参加活動の促進や障がい者、高齢者の自立に向けた支援に取り組んだ。

(12) やすらぎ木曜市の開催及び地域的展開

障がい者就労施設等の利用者の就労体験や労働意欲向上及び会館利用者との交流を目的として、毎週木曜日に各施設の製品等をやすらぎ会館1階ロビーで販売する「やすらぎ木曜日」を企画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休止とした。

(13) ふくしボランティアフェスティバルの開催

子どもから大人まで楽しみながら福祉に関する理解と関心を深めるため、ボランティア体験コーナー、障がい者団体等の協力による手作り品即売会、「よりどころ」プロジェクトや『せとっち』を活用した啓発活動を予定したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

### 3 相談事業

(1) 心配ごと相談の実施

毎週木曜日の午後1時から面接相談を予定したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休止期間があり、その間は電話による「よろず相談」として実施した。

| 開設回数 | 取扱延件数 | 1回あたり取扱件数 |
|------|-------|-----------|
| 37回  | 33件   | 0.9件      |

| 内容    | 相談件数 |
|-------|------|
| よろず相談 | 5件   |

(2) 法律相談の実施

法律相談は、毎月第1から第4木曜日の午前9時から弁護士による面接相談を予定したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、休止や電話相談とあわせて実施した。

| 開設回数              | 取扱延件数 | 1回あたり取扱件数 |
|-------------------|-------|-----------|
| 38回(うち4回は電話による相談) | 196件  | 5.2件      |

(3) 福祉総合相談の実施

福祉の総合相談窓口として市内各所より高齢者や障がい者及びその家族から相談があり、情報提供や各種サービスの連絡調整、関係機関への紹介等を実施した。また、介護支援専門員等の福祉従事者、医療機関等の専門機関からの相談の他にも、民生委員等地域の方からの相談が多くあり、専門機関につなぐ等の連携に取り組んだ。

相談内容については、高齢者に関する相談が最も多く、内容も介護や介護保険サービスについての相談だけではなく、「障がいを持つ子と認知症を患う親」といった複合的な内容を伴う相談も多く見られた。

| 内容         | 相談延件数  |
|------------|--------|
| 高齢者        | 9,591件 |
| 障がい者       | 673件   |
| 認知症に関する相談  | 712件   |
| 権利擁護に関する相談 | 343件   |

#### 4 ボランティア関連事業

##### (1) ボランティアセンター機能の充実

ボランティアに関する相談・活動等に対応するため、ボランティア相談の実施、ボランティア登録の拡充等、ボランティアセンターの運営強化に努めた。また、一般市民を対象とした各種ボランティア講座、登録ボランティアの紹介及びボランティア活動の啓発、情報の提供を広報紙・ホームページ・フェイスブックを活用し取り組んだ。

##### ア ボランティアセンター運営委員会の開催

主な議案

- ・事業報告
- ・瀬戸市福祉教育推進校、福祉実践教室説明及び体験会、児童・生徒の福祉実践教室
- ・各種講座の開催
- ・事業計画
- ・地域福祉ボランティア活動助成金の交付

##### イ ボランティアに関する状況

|           |                     |         |          |
|-----------|---------------------|---------|----------|
| ボランティア登録  | 団体：85団体<br>(1,634人) | 個人：13人  | 総数1,647人 |
| ボランティア相談  | 活動依頼数20件            | 相談件数28件 | 総件数48件   |
| ボランティアサロン | 開催1回                | 参加人数15人 |          |
| ボランティア保険  | 加入総数：2,184人         |         |          |

##### ウ 講座等に関する状況

| 内容    | 対象  | 内容                    | 開催日数 | 参加者数 |
|-------|---|-----------------------|------|------|
| 講座    | 市民及び登録ボランティア  | ・災害ボランティアコーディネーター養成講座 | 1日   | 33人  |
|       | 教職員<br>(小・中・高等学校)   | ・福祉実践教室説明及び体験会        | 1日   | 中止   |
|       | 市民  | ・福祉実践教室サポーター養成講座【新規】  | 1日   | 18人  |
|       | 小学生<br>(4年生～6年生)  | ・こどもふくし体験<br>きやらばん    | 2日   | 中止   |
| 広報活動  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「社協だより」…年4回掲載</li> <li>・ホームページ、フェイスブックの活用…随時更新</li> <li>・「広報せと」…ボランティア講座等の開催のお知らせ掲載</li> <li>・「ボランティアだより」…年2回発行(9、12月)</li> </ul> |                       |      |      |
| 運営委員会 | 開催回数 3回   |                       |      |      |



エ 福祉実践教室開催状況

コロナ禍での開催にあたり、講師やボランティアと感染予防対策を徹底し、実施した。

| 福祉実践教室：通年 参加者数：1,496人 |     |    |      |    |           |          |     |         |     |    |          |    |
|-----------------------|-----|----|------|----|-----------|----------|-----|---------|-----|----|----------|----|
| <科目別実施回数(専門学校を含む)>    |     |    |      |    |           |          |     |         |     |    | (単位：回)   |    |
| 区分                    | 科目  |    |      |    |           |          |     |         |     |    |          |    |
|                       | 車いす | 手話 | 要約筆記 | 点字 | 視覚障がい者ガイド | 知的障がい者理解 | 音声訳 | 高齢者疑似体験 | 盲導犬 | 講演 | 認知症サポーター | 合計 |
| 小学校                   | 6   | 15 | 1    | 8  | 3         | 1        | 0   | 4       | 2   | 0  | 1        | 41 |
| 中学校                   | 0   | 0  | 0    | 0  | 0         | 0        | 0   | 0       | 0   | 0  | 0        | 0  |
| 高等学校等                 | 1   | 1  | 0    | 0  | 0         | 1        | 0   | 3       | 1   | 0  | 1        | 8  |
| 合計                    | 7   | 16 | 1    | 8  | 3         | 2        | 0   | 7       | 3   | 0  | 2        | 49 |

(2) ボランティア団体への支援

瀬戸市ボランティア連絡協議会をはじめ18団体の登録ボランティアを対象に、地域福祉ボランティア活動助成金を交付し、活動の支援に取り組んだ。

| 区分                          | 件数  | 金額       |
|-----------------------------|-----|----------|
| ボランティア活動を啓発、または拡大するために必要な経費 | 11件 | 262,607円 |
| ボランティア活動に必要な資器材等の購入に要する経費   | 6件  | 333,960円 |
| ボランティア活動に特に必要と認められる経費       | 1件  | 200,000円 |
| 合計                          | 18件 | 796,567円 |

(3) 東尾張ブロック局地災害時救援活動訓練

東尾張ブロック9市2町の幹事市として、災害救援連絡会議や局地災害時救援活動訓練の実施に向けた活動に取り組んだ。

| 内容  | 開催日                               | 内容  | 参加者数等       |
|---|-----------------------------------|---|-------------|
| 第1回<br>東尾張ブロック<br>災害救援連絡会議                  | 令和2年<br>10月9日(金)                  | ・令和2年度東尾張ブロック社会福祉協議会局地災害時救援活動訓練について                               | 12団体<br>17人 |
| 東尾張ブロック<br>社会福祉協議会局<br>地災害時救援活動<br>訓練(事前訓練) | 令和3年<br>1月27日(水)<br>～<br>1月29日(金) | ・相互応援に関する協定確認及び訓練<br>・瀬戸市災害ボランティアセンター設置運営事前訓練<br>・瀬戸北ロータリークラブとの連携 | 13団体<br>17人 |

|                                       |                  |   |             |
|---------------------------------------|------------------|---|-------------|
| 東尾張ブロック<br>社会福祉協議会局<br>地災害時救援活動<br>訓練 | 令和3年<br>1月31日(日) | ・瀬戸市災害ボランティアセンター設置運営訓練<br>・コロナ禍における災害ボランティアセンターの運営訓練      | 中止          |
| 第2回<br>東尾張ブロック<br>災害救援連絡会議            | 令和3年<br>3月12日(金) | ・令和2年度東尾張ブロック社会福祉協議会局地災害時救援活動訓練における事前訓練及びオンライン会議の振り返りについて | 13団体<br>18人 |

## 5 援護活動事業

### (1) 生活福祉資金、小口資金等の貸付

#### ア 生活福祉資金貸付事業(新型コロナウイルス感染症に係る特例貸付)

新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減少した世帯に対して、相談支援及び必要な資金の貸付を実施した。

| 内容     | 貸付延べ件数 | 総貸付金額        |
|--------|--------|--------------|
| 緊急小口資金 | 748件   | 136,700,000円 |
| 総合支援資金 | 208件   | 89,756,000円  |

#### イ 生活福祉資金貸付事業

他の資金の借入れが困難な低所得世帯、障がい者や高齢者のいる世帯に対して、相談支援及び必要な資金の貸付を実施した。

| 内容     | 貸付件数 | 総貸付金額       |
|--------|------|-------------|
| 教育支援資金 | 6件   | 15,860,000円 |

#### ウ 法外援護

社会福祉協議会の自主財源を原資に、2万円を上限に小口融資の貸付を実施した。

| 内容       | 貸付件数 | 総貸付金額    |
|----------|------|----------|
| 小口融資資金貸付 | 12件  | 230,000円 |

### (2) 福祉奨学金の支給

低所得世帯の生徒が高等学校及びこれに準ずる専門学校へ通学する場合に必要な学資の一部として奨学金の支給を実施した。

| 内容    | 対象者 | 支給額                 |
|-------|-----|---------------------|
| 福祉奨学金 | 9人  | 90,000円(10,000円/1人) |

### (3) 福祉奨学金入学準備費の支給

新小学1年生及び新中学1年生の入学援助のため、瀬戸市の就学援助費新入学児童生徒学用品費を受給する方を対象に、福祉奨学金入学準備費の支給を実施した。

| 内容         | 対象者  | 支給額                    |
|------------|------|------------------------|
| 福祉奨学金入学準備費 | 161人 | 3,220,000円(20,000円/1人) |

### (4) 「ささえ愛ポスト」の寄付マスク配布について

マスクの寄付を募る「ささえ愛ポスト」を設置し、寄付をされたマスクを市内の福祉施設等に配布を行った。

| 区分   | 内容   |
|------|--|
| 設置場所 | 2か所（やすらぎ会館・瀬戸市役所）  |
| 設置期間 | 令和2年5月20日（水）～12月28日（月）   |
| 配布枚数 | 3,200枚   |
| 配布先  | 社会福祉協議会施設会員<br>地区社協<br>よりどころ<br>市内保育園<br>認知症カフェ<br>市内児童養護施設<br>市内ブラジル人学校 |

## 6 各種福祉活動

| 区分      | 事業内容  |
|---------|---|
| 児童青少年福祉 | 1 福祉教育推進校の指定 6校<br>小学校 水南、西陵<br>中学校 光陵、品野<br>高等学校等 瀬戸窯業、瀬戸北総合                                   |
| 老人福祉    | 1 敬老行事に対する事業費助成<br>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止  |
| 障がい者福祉  | 1 福祉クリスマス会<br>令和2年12月12日（土） 中止<br>家庭で楽しめるようDVDを作成し、対象者に配布 67件                                   |
| 社会福祉一般  | 1 広報活動の充実強化（社協だより、ホームページ等）<br>2 社会を明るくする運動への協力<br>3 車いすの貸出 237台<br>4 ゆうあい号（車いすスロープ付軽自動車）の貸出 65件 |

## 7 おもちゃ図書館「クレヨン」の運営及び活動

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため運営及び活動は休止としたが、開館に備えおもちゃの消毒やおもちゃの更新など、利用者を迎える体制維持に取り組んだ。

休止中、障がい児者や子育て関連施設へおもちゃの貸出は実施した。

| 貸出日数 | おもちゃ貸出数              |
|------|----------------------|
| 4日   | 6個（障がい児関係者及び子育て関係団体） |

## 8 受託運営事業

### (1) 介護保険訪問調査事業

瀬戸市から委託を受けて、要介護認定調査対象者に対して介護支援専門員が訪問調査等を行った。

| 内容       | 件数     |
|----------|--------|
| 介護保険訪問調査 | 1,948件 |

(2) 瀬戸市福祉保健センター(やすらぎ会館)の管理・経営

ア 瀬戸市福祉保健センターの施設管理

指定管理者制度により、福祉保健センター(やすらぎ会館)の指定を受けて、管理・経営を実施した。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、利用休止や利用制限、消毒の徹底や利用時の注意喚起を行う等、安全な管理運営を行った。

| 階  | 施設名     | 件数     | 人数      |
|----|---------|--------|---------|
| 1階 | 第1作業室   | 332件   | 2,572人  |
|    | 第2作業室   | 207件   | 1,479人  |
|    | 日常生活訓練室 | 0件     | 0人      |
| 2階 | プレイルーム  | 198件   | 2,427人  |
|    | 視聴覚室    | 334件   | 4,509人  |
|    | 201会議室  | 277件   | 2,478人  |
|    | ボランティア室 | 114件   | 748人    |
|    | 相談室     | 113件   | 480人    |
| 3階 | 教養娯楽室   | 0件     | 0人      |
|    | 和集会室    | 54件    | 857人    |
|    | 相談室     | 0件     | 0人      |
| 4階 | 健診室     | 130件   | 4,111人  |
|    | 401会議室  | 14件    | 135人    |
| 5階 | 大集会室    | 231件   | 5,986人  |
|    | 看護指導室   | 150件   | 3,598人  |
|    | リハビリ指導室 | 180件   | 3,619人  |
|    | 501集会室  | 26件    | 478人    |
|    | 栄養実習室   | 100件   | 2,967人  |
| 合計 |         | 2,460件 | 36,444人 |

イ 瀬戸市身体障害者福祉センターの運営

障がい者を対象とした福祉講座は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を休止した。また、利用制限や外出自粛などから来館による相談に対する助言、指導及び各種サービスの提供が十分に実施できなかった。

福祉夏まつり及び福祉お楽しみ交流会は、不特定多数の参加が見込まれるため、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止とした。

| 内容        | 開催日                                       |
|-----------|---|
| 福祉夏まつり    | 令和2年8月7日(金)中止                             |
| 福祉お楽しみ交流会 | 令和3年2月19日(金)、20日(土)<br>演芸会…中止、作品展示…3階にて展示 |

ウ 瀬戸市老人福祉センターの運営

緊急事態宣言発出期間中の、4月・5月、1月・2月は利用休止とした。利用休止期間中は、利用者への電話連絡により、安否確認や困りごとの相談を実施した。利用再開に際しては、フロアの換気、手指消毒や検温の徹底のほか、利用者同士の密集・密接を防ぐために利用制限や浴室利用に際しては事前予約制とする等、感染対策を徹底した。60歳以上の方等を対象とした福祉教室は開催を中止したが、老人福祉センター利用者へのフレイ

ル予防の取り組みを実施した。

(ア) 各種教室の状況

高齢者等を対象とした体操やパソコン教室等、例年10種類ほどの福祉教室を実施しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全て休止とした。

(イ) 団体別利用状況

| 老人クラブ | 教室 | サークル | その他の団体 | 合計   |
|-------|----|------|--------|------|
| 0人    | 0人 | 0人   | 376人   | 376人 |

(ウ) 設備・事業別利用状況

| ヘルストロン | 入浴   | 囲碁・将棋 | 相談 | 合計     |
|--------|------|-------|----|--------|
| 2,682人 | 889人 | 0人    | 6人 | 3,577人 |

(エ) 送迎バス利用状況

| 区分     | 利用日   | 利用人数 |
|--------|-------|------|
| 個人利用者  | 月・木曜日 | 240人 |
| 老人クラブ  | 水・金曜日 | 0人   |
| その他の団体 |       | 0人   |
| 合計     |       | 240人 |

エ 瀬戸市プレイルームの運営

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月5日から5月31日までを利用休止とし、6月1日からは事前予約制で利用を再開した。感染症予防に努め、健康チェック表を用いて親子の体調を把握し、使用したおもちゃやプレイルーム内の消毒を徹底し安心利用に取り組んだ。

育児講座についてはプレイルーム内でできる講座のみ開催したが、その他の講座等については休止とした。

| 区分     |         | 回数   | 人数     |
|--------|---------|------|--------|
| 講座・教室等 | 育児講座    | 9回   | 110人   |
|        | 親子お楽しみ会 | 0回   | 0人     |
|        | 小学生講座   | 0回   | 0人     |
|        | 小計      | 9回   | 110人   |
| プレイルーム | 育児サロン   | 168回 | 2,262人 |
|        | 一般利用者数  | 30回  | 165人   |
|        | 小計      | 198回 | 2,427人 |
| 合計     |         | 207回 | 2,537人 |

(3) 地域包括支援センター事業

ア やすらぎ地域包括支援センター

瀬戸市が設置する地域包括支援センターの1つとして、陶原・長根地区に住む高齢者を対象に、自宅訪問による実態把握等を行った。介護予防教室に関しては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため今年度は休止となった。また、認知症初期集中支援チームで、認知症の方と家族に対する包括的かつ集中的な支援を行った。

| 区分             | 事業実施内容           | 実績   |
|----------------|------------------|------|
| やすらぎ地域包括支援センター | 介護予防(口腔)教室実施回数   | 0回   |
|                | 地域はつらつ講座実施回数     | 1回   |
|                | 高齢者実態把握件数        | 115件 |
|                | 総合相談支援件数(処遇困難事例) | 1件   |
|                | 介護支援専門員に対する支援件数  | 45件  |
|                | 住宅改修理由書作成件数      | 14件  |
|                | 認知症初期集中支援延件数     | 17件  |

イ 瀬戸市基幹型地域包括支援センター

市内7か所の地域包括支援センターの全体調整や支援、緊急・困難ケースへの対応、地域包括支援センター及び介護支援専門員の資質向上研修、認知症カフェの開催、医師会等の医療関係機関及び生活支援コーディネーターとの連携、介護予防・日常生活支援総合事業に関する情報収集等を実施した。また、認知症地域支援推進員として認知症ケアパスや認知症カフェの継続的な普及・啓発の実施、さらに認知症当事者が抱える課題やニーズ(要望)の把握と認知症サポーターの活動支援等、地域包括ケアシステムの深化・推進に取り組んだ。

基幹型地域包括支援センターが取り組む認知症カフェは認知症サポーターの力を借りながら本人が望む活動を側面的に支援する内容で実施した。

| 区分            | 事業実施内容                  | 実績   |
|---------------|-------------------------|------|
| 基幹型地域包括支援センター | 相談延件数                   | 927件 |
|               | 相談延件数のうち認知症に関する相談延件数    | 211件 |
|               | 介護保険事業所向けに開催した研修回数      | 3回   |
|               | 行政・地域団体等の依頼に応じて開催した講座回数 | 3回   |
|               | 地域ケア会議の開催及び出席した回数       | 8回   |
|               | 認知症カフェの開催回数             | 15回  |

(4) 日常生活自立支援(福祉サービス利用援助)事業

愛知県社協から委託を受けて、認知症高齢者・知的障がい者・精神障がい者などで判断することが不安な方のために福祉サービスを利用する際の援助等の事業を実施した。

| 区分     | 件数  |
|--------|-----|
| 新規契約数  | 1件  |
| 年度末契約数 | 17件 |

| 内容 \ 対象者               | 認知症<br>高齢者等 | 知的<br>障がい者等 | 精神<br>障がい者等 | 合計   |
|------------------------|-------------|-------------|-------------|------|
| 問い合わせ件数<br>(制度、事業について) | 7件          | 6件          | 2件          | 15件  |
| 初回相談件数<br>(初回相談受付)     | 7件          | 2件          | 2件          | 11件  |
| 相談援助件数                 | 86件         | 78件         | 64件         | 228件 |
| 合計                     | 100件        | 86件         | 68件         | 254件 |

(5) 各種福祉関係団体事務局

瀬戸市から委託を受けて、6団体(瀬戸市遺族連合会、瀬戸市更生保護女性会、瀬戸市民生委員児童委員協議会、瀬戸市子ども会連絡協議会、瀬戸市母子福祉会、瀬戸市老人クラブ連合会)の事務局等の運営業務を行った。

(6) 生活支援コーディネーター配置業務(第1層・第2層)

瀬戸市から委託を受けて、市内全域(第1層)の生活支援コーディネーター、7地域包括支援センター圏域からモデル的に配置された3圏域(ふたば地域包括支援センター圏域・地域包括支援センターしなの圏域・地域包括支援センター中央東圏域)に第2層生活支援コーディネーターを配置し、生活支援・介護予防サービスの提供体制整備の推進を図った。

ア 資源の把握等の実施

地域におけるボランティア等の生活支援サービスに関連する資源の把握やネットワーク構築に向けて各種研修会・会議への参加を行い、生活支援・介護予防サービスの整備に向けた情報の把握に努めた。

また、資源把握をした情報を基に瀬戸市資源マップ「つながり やっぱり おもいやり」お弁当等配達版を作成した。

| 事業内容           | 件数   |
|----------------|------|
| 資源の把握及び開発      | 82件  |
| ネットワーク構築       | 165件 |
| ニーズと取り組みのマッチング | 193件 |
| サービスの担い手の養成    | 7件   |
| 合計             | 447件 |

イ 担い手養成講座「インターネットを使って交流してみませんか」の実施

新型コロナウイルス感染症の影響から地域のサロンや催し物が開催できない状況から、コロナ禍でもできる新たな交流・居場所の確保のため、オンラインサロンの運営に関心のある高齢者の方々を対象として担い手養成講座を開催した。

| 区分  | 開催日          | 開催時間        | 参加者数 |
|-----|--------------|-------------|------|
| 1日目 | 令和3年3月15日(月) | 10:00~12:00 | 14人  |
| 2日目 | 令和3年3月22日(月) | 10:00~12:00 | 14人  |

(7) 新型コロナウイルス感染症対策緊急生活支援業務の実施【新規】

新型コロナウイルスの感染者・濃厚接触者として保健所から自宅待機を求められ、生活に必要な食料品や日用品等の調達が困難な方に対して、代わりに買い物し、自宅へ配達を行った。

| 内容   | 件数  |
|------|-----|
| 生活支援 | 30件 |

9 介護保険事業

(1) 居宅介護支援(ケアプラン作成)事業

せと地域福祉サービスセンター(居宅介護支援事業所)を運営し、要介護認定者にケアプランを作成した。

| 区分    | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 | 合計     |
|-------|------|------|------|------|------|--------|
| 利用者数  | 35人  | 20人  | 19人  | 9人   | 8人   | 91人    |
| 作成延件数 | 359件 | 278件 | 191件 | 105件 | 81件  | 1,014件 |

(2) 介護予防支援(介護予防ケアプラン作成)事業

やすらぎ地域包括支援センターの事業として、陶原・長根地区の要支援認定者及び事業対象者に介護予防ケアプランを作成した。

| 区分    | 事業対象者 | 要支援1 | 要支援2 | 合計     |
|-------|-------|------|------|--------|
| 利用者数  | 42人   | 60人  | 70人  | 172人   |
| 作成延件数 | 461件  | 636件 | 847件 | 1,944件 |

10 障害者の日常生活および社会生活を総合的に支援するための事業

(1) 地域生活支援(地域活動支援センター)事業

新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を徹底し、創作的活動、社会適応訓練、レクリエーション及び送迎等のサービスを行った。また、多くのボランティアの協力を得ながら、一人ひとりの適性に合わせた活動支援を行った。

| 区分    |        | 人数     | 開催日数 |
|-------|--------|--------|------|
| 利用登録者 |        | 29人    | 293日 |
| 参加延人数 | 利用者    | 1,602人 |      |
|       | ボランティア | 580人   |      |

11 その他の支援事業

(1) 瀬戸市共同募金委員会への支援

ア 共同募金運動(赤い羽根共同募金及び歳末たすけあい募金)の実施

| 内容        | 募金実績額       |
|-----------|-------------|
| 赤い羽根共同募金  | 10,179,163円 |
| 歳末たすけあい募金 | 6,666,065円  |
| 合計        | 16,845,228円 |

イ 募金機能付き自動販売機の普及啓発

| 内容          | 延設置台数 |
|-------------|-------|
| 募金機能付き自動販売機 | 15台   |

(2) 日赤瀬戸市地区への支援

ア 活動資金の募集

| 内容   | 募集実績額      |
|------|------------|
| 一般社資 | 7,451,508円 |
| 法人社資 | 651,000円   |
| 合計   | 8,102,508円 |

イ 災害見舞金及び物資の支給

| 支給件数 | 災害見舞金   | 物資              |
|------|---------|-----------------|
| 3件   | 25,000円 | 毛布11枚、緊急セット3セット |

ウ 災害義援金等の受付

被災者支援の一助とするため、やすらぎ会館等に募金箱を設置して災害義援金を募り、また窓口にて受付を行った。